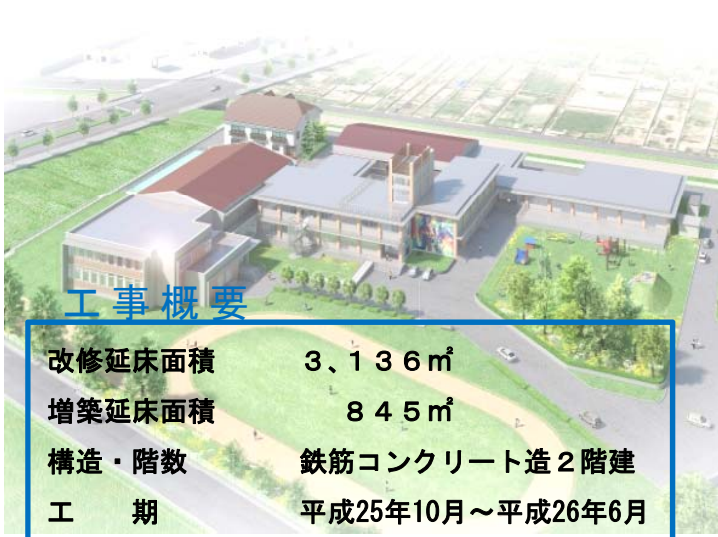


教育地域科学部附属特別支援学校(改修・増築)



工事概要

改修延床面積	3,136㎡
増築延床面積	845㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造2階建
工期	平成25年10月～平成26年6月



工事において重視した特別支援学校の教育活動と施設の特徴

①ものづくりや体験活動を中心とした小中高一貫の集団活動(総合的活動) (中学部・高等部ホームの整備)

これまで専用の部屋が無く教室等を兼用していたが、ホームを増設することにより、これまで空間的に制限のあった全校縦割り集団活動や、小中高の縦割りホーム実現に向けた取り組みが充実した環境のもとで実施可能となり、総合的活動の教育効果が高まる。



既存施設の面積配分を見直して整備された中等部ホーム。廊下側の間仕切りは、ほぼフルオープンすることができ、必要なときは廊下を含めた広いスペースが確保できる。

②就労支援を意識したものづくり等の活動 (就労支援室・多目的室の整備)

大学キャンパスで勤務している「就労支援室 キャンパス支援員(特別支援学校卒業生)」と合同で職場体験を行い、仕事の概要を把握し職場における関係づくりを学習することができる空間(就労支援室・多目的室)を整備することにより、特別支援学校高等部のキャリア教育・職業教育の充実が図られる。



増築部2階に設置した就労支援室。隣接する多目的室と合わせて就労支援を意識したものづくり・キャリア教育の拠点となる。

③「イッカル」な教育と一層の地域貢献を可能とする施設 (体験学習室等の整備)

体験学習室の新設や作業棟の整備により「障害児」のみならず「健常児」も含めた体験学習やもの作り活動が可能となり、障害児生徒の自己実現や社会参加に向けた技術や態度の育成に多大な効果が期待できる。また、学校間交流や公開講座、施設開放の拡充により、より一層の地域貢献が可能となる。



増築部1階に設置した体験学習室。作業棟の焼き物・木工・織りもの・紙とすり等の施設と合わせて活用することにより体験学習や、学校間交流・地域開放による貢献の拠点となる。

施設の案内



【焼き物の部屋】
専用流し、作品の収納棚を設置し、明るく作業しやすい環境にしました。



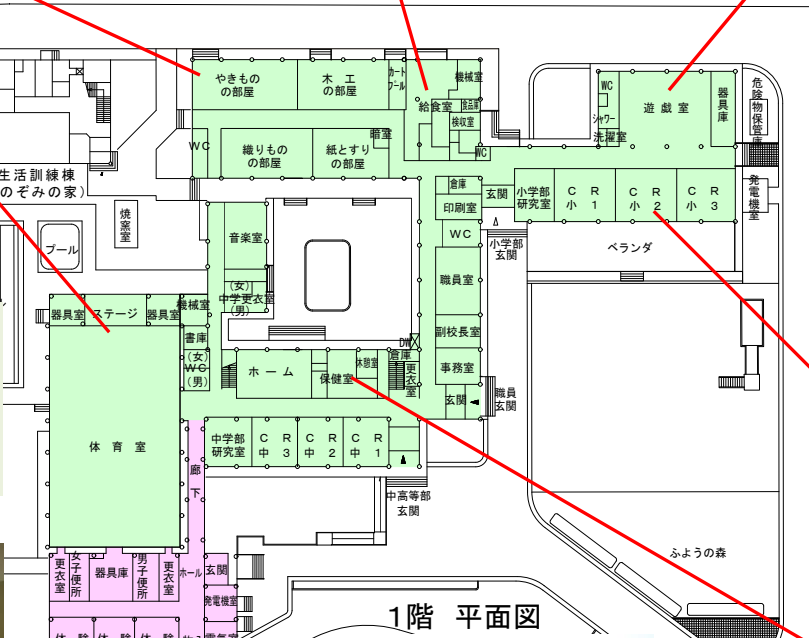
【給食室】
明るく衛生的な環境にしました。床材は、ぬれても滑りにくい材質としました。



【遊戯室】
衝撃を吸収しやすい床材を使用しています。



【体育館】
床は研磨コーティング照明是水銀灯からLEDに変更。輻射暖房用のパネルヒータを設置しました。



【小学部教室】
作り付け家具を設置しました。手洗いは生徒の体格を考慮し教室毎に高さを変えています。



【体験学習室】
広く明るい環境に仕上げました。



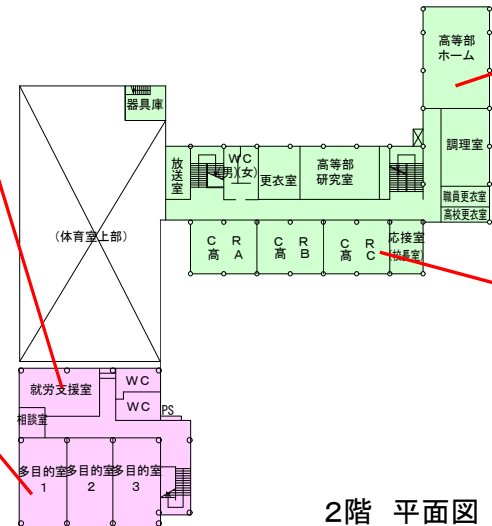
【屋外：築山】
屋外活動に変化を持たせ、積雪時にはそりやスキー場に早変わりします。



【保健室】
収納を多く設け、効率的で安らぎを感じる空間としました。



【就労支援室】
いろいろな活動に使用できるように流しや収納を充実しました。



【高等部ホーム】
集団活動のための、広く明るい環境に仕上げました。



【多目的室】
移動間仕切りを設置し建物利用のフレキシビリティを高めています



【高等部教室】
収納を多く設けた明るい環境としました。

2階 平面図